

図面にピンマークをつけて 工事写真（指摘箇所）と連携する

図面にピンマークをつけて、工事写真や指摘記録などの詳細を記載したページと連携することができます。ピンマークをつけた順序が表示されたり、画像が追加されたときや作業が完了したときにピンマークが変わったりするので、作業の効率化が図れます。

別ガイド「[工事黒板・工事写真票の使い方ガイド](#)」もご参照ください。

Android 版をご利用の方へ


- Android 版では「工事写真」「工事写真帳」「フォーム部品」を追加することはできません。
- Android 版ではノート編集画面に、 や  > 「フォーム部品を追加」は表示されません。工事写真やフォーム部品の追加・設定は、iOS 版または Windows 版で操作します。

詳しい説明を見る

- 本書では、iPad (iPad OS 15・横向き) の eYACHO for Business を使って説明しています。画面や利用できる機能が、お使いの eYACHO for Business と異なる場合があります。
- 本書では基本的な機能のみ紹介しています。詳しい操作説明は、マニュアルや管理者ガイドをご覧ください。マニュアルや管理者ガイドは、次のところから参照できます。

マニュアル：eYACHO for Business の画面右上  > 「マニュアル」

管理者ガイド：Web 管理ツールのトップページ/管理者メニュー > 「ダウンロード/リンク」

- 本書では、eYACHO for Business の画面右上  > 「システムオプション」 > 「表示設定」 > 「ボタンにラベルを表示」をオフで画面を撮影しています。
- ノートを作成した OS 環境とは異なる OS の eYACHO for Business でノートを開くと、フォントの違いによる文字の送り・改行のズレがあることをあらかじめご了承ください。源ノ明朝、源ノ角ゴシックフォントをお使いいただくと解消されます。

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPad は、Apple Inc. の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、本書の著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

目次

1.	図面と工事写真を連携する	3
1-1	工事写真と連携できる用紙に図面ファイルを読み込む	3
1-2	工事内容を入力する	4
2.	図面と指摘記録を連携する①	5
2-1	指摘記録票と連携できる用紙に図面ファイルを読み込む	5
2-2	是正指摘内容を入力する	5
2-3	是正内容を入力する	6
3.	図面と指摘記録を連携する②	7
3-1	指摘記録と連携できる用紙に図面ファイルを読み込む	7
3-2	是正指摘内容を入力する	7
3-3	是正内容を入力する	8
4.	こんなときは	9
4-1	ピンマークを移動したい	9
4-2	ピンマークを追加後、ピンマークの形や色・サイズを変更したい	10
4-3	ピンマークの形や色・関連付けを変更したい	11
4-4	カスタマイズした図面連携用紙を登録してチームで利用したい	13
4-5	ピンマークに関連付けられた一覧を作りたい	14
4-6	複数の図面ファイルを一度に追加する	15
4-7	図面ファイルをほかのアプリから送り追加する	15

1. 図面と工事写真を連携する

1-1 工事写真と連携できる用紙に図面ファイルを読み込む

① + > 「図面を追加」を選びます



② 「図面連携用紙でページを追加」を選びます

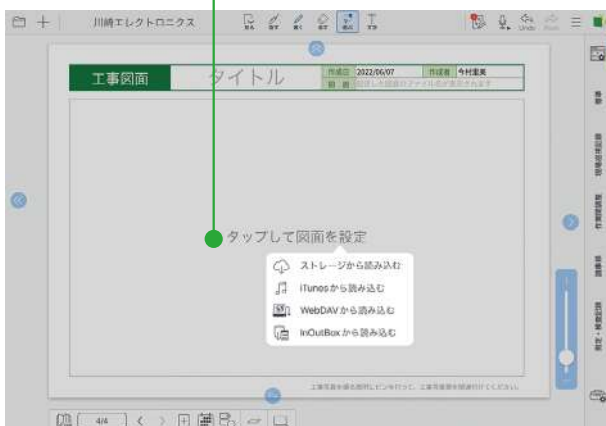


③ 「工事写真との連携」を選びます



工事写真票と連携できる用紙が追加されます。

④ タップして、「ファイルから選択」を選び、保存先を選んで、図面ファイルを読み込みます



⑤ タイトルや縮尺などを設定し、[完了]を押します



工事写真票と連携できる用紙に、図面ファイルが読み込まれます。

図面ファイルの保存場所について

あらかじめ以下の場所に保存しておきます。

- iOS版：ストレージ・iTunes・WebDAV・InOutBox
- Windows版：「エクスプローラー」から選べる場所
- Android版：「ファイル」から選べる場所



ほかの方法で読み込む

次の方法で図面ファイルを図面連携用紙に読み込むこともできます。

- ▶ 複数の図面ファイルを一度に追加する (P15)
- ▶ 図面ファイルをほかのアプリから送り追加する (P15)

1-2 工事内容を入力する

ピンマークを追加し、工事写真票と関連付けをして、工事内容を入力します。

①ピンマークを追加するところでタップし、「ピンマークを追加」を選びます



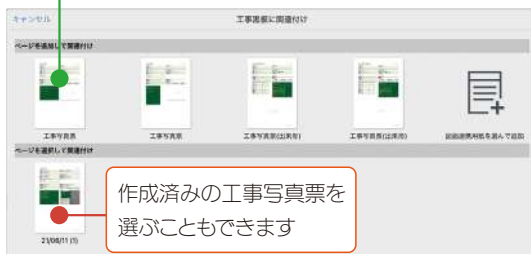
ピンマークが追加されます。

②ピンマークを押し、「工事黒板に関連付け」を選びます



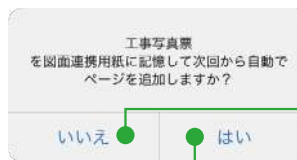
追加した順に数字が表示されます

③工事黒板を含む用紙を選びます



作成済みの工事写真票を選ぶこともできます

④メッセージが表示されるので選びます



ピンマークと関連付ける工事黒板を選び、「完了」を押します

⑤ピンマークと関連付けられた工事写真票が追加されるので、工事写真票に必要な事項を入力し、写真を追加します



「ピンに移動」を押すと、図面が表示され、関連付いたピンマークが選ばれます。



ピンマークを押し、表示されたメニューから「工事黒板に移動」を選ぶと、工事黒板が表示されます。

① Android 版では、工事写真を追加することはできません。工事写真の追加・設定は、iOS 版または Windows 版で操作します。

ピンマークを変更できます

ピンマークの表示

ピンマークが追加されたとき：●
工事写真が追加されたとき：●

操作④で「はい」を選んだ場合

同じ図面連携用紙で、次に操作①②をすると、記憶された操作③の用紙が自動で追加され、操作⑤に進みます。

① 記憶された操作③の用紙は、「図面ユニットの設定」から変更できます。

▶ピンマークの形や色・関連付けを変更したい (P11)

② 設定を変更した図面連携用紙を登録し、チームで共有することもできます。

▶カスタマイズした図面連携用紙を登録してチームで利用したい (P13)

▶ピンマークを移動したい (P9)

▶ピンマークを追加後、ピンマークの形や色・サイズを変更したい (P10)

▶工事写真帳を作る (P14)

2. 図面と指摘記録を連携する①

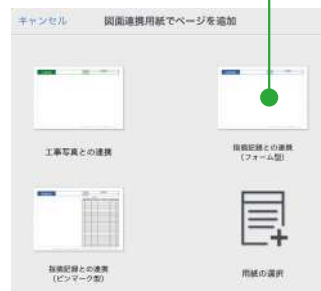
2-1 指摘記録票と連携できる用紙に図面ファイルを読み込む

図面ファイルを指摘記録票と連携できる用紙に読み込む方法は、「図面と工事写真を連携する (P3)」と同じです。

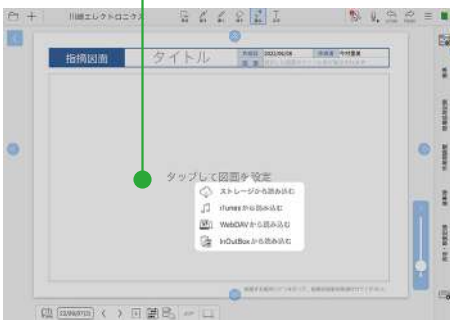
▶ 図面ファイルの保存場所について (P3)

① + > 「図面を追加」 > 「図面連携用紙でページを追加」 を選びます

② 「指摘記録との連携 (フォーム型)」 を選んで、用紙を追加します



③ タップして、「ファイルから選択」を選び、保存先を選んで、図面ファイルを読み込みます



指摘記録票と連携できる用紙に、図面ファイルが読み込まれます。

ほかの方法で読み込む

次の方法で図面ファイルを図面連携用紙に読み込むこともできます。

▶ 複数の図面ファイルを一度に追加する (P15)

▶ 図面ファイルをほかのアプリから送り追加する (P15)

2-2 是正指摘内容を入力する

ピンマークを追加し、指摘記録票を関連付けをして、是正指摘内容を入力します。

① ピンマークを追加したいところでタップし、「ピンマークを追加」を選びます



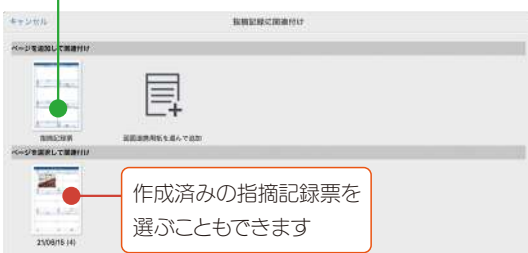
ピンマークが追加されます。

② ピンマークを押し、「指摘記録に関連付け」を選びます

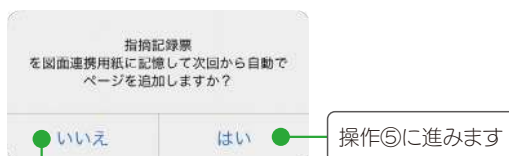


追加した順に数字が表示されます

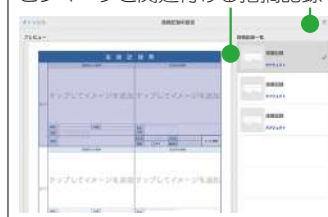
③ 指摘記録票を選びます



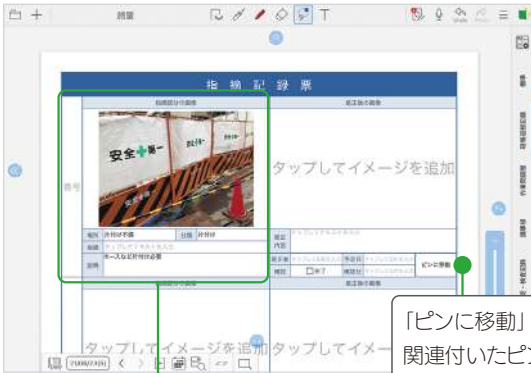
④ メッセージが表示されるので選びます



ピンマークと関連付ける指摘記録を選び、[完了]を押します



⑤ピンマークと関連付けられた指摘記録票が追加されるので、是正指示内容を入力し、画像を追加します



「ピンに移動」を押すと、図面が表示され、関連付いたピンマークが選ばれます。

ピンマークの表示

- ピンマークが追加されたとき：●
- 「指摘部分の画像」が追加されたとき：▲
- 画像が追加されていないとき：✕

▶ピンマークを移動したい (P9)



操作④で「はい」を選んだ場合

同じ図面連携用紙で、次に操作①②をすると、記憶された操作③の用紙が自動で追加され、操作⑤に進みます。

①記憶された操作③の用紙は、「図面ユニットの設定」から変更できます。
▶ピンマークの形や色・関連付けを変更したい (P11)

②設定を変更した図面連携用紙を登録し、チームで共有することもできます。
▶カスタマイズした図面連携用紙を登録してチームで利用したい (P13)

2-3 是正内容を入力する

①是正するメンバーが、図面のページを開きます

②🔄を押します

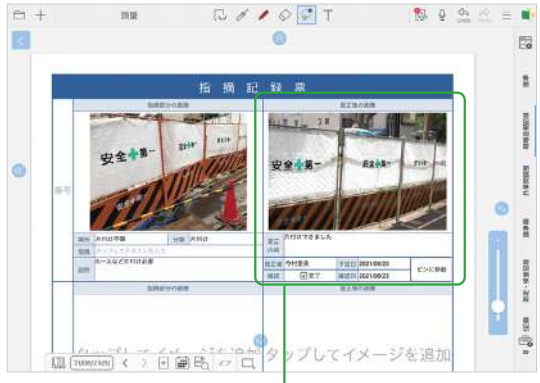
③▲のピンマークを押し、「指摘記録に移動」を選びます

④是正後の内容を入力し、画像を追加します



指摘記録票が表示されます。

▶指摘記録一覧を作る (P14)



ピンマークの表示

- 「是正後の画像」が追加されたとき：▲
- 「完了」がオンになり、終了したとき：●

3. 図面と指摘記録を連携する②

3-1 指摘記録と連携できる用紙に図面ファイルを読み込む

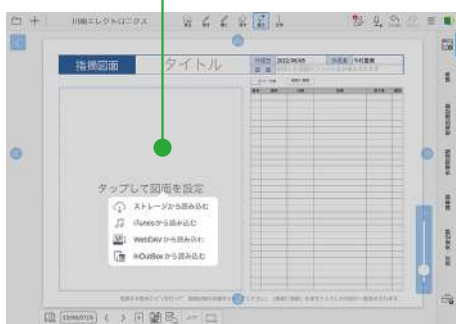
図面ファイルを指摘記録と連携できる用紙に読み込む方法は、「図面と工事写真を連携する (P3)」と同じです。

▶ 図面ファイルの保存場所について (P3)

- ① + > 「図面を追加」 > 「図面連携用紙でページを追加」を選びます
- ② 「指摘記録との連携 (ピンマーク型)」を選び、用紙を追加します



- ③ タップして、「ファイルから選択」を選び、保存先を選んで、図面ファイルを読み込みます



指摘記録と連携できる用紙に、図面ファイルが読み込まれます。

ほかの方法で読み込む

次の方法で図面ファイルを図面連携用紙に読み込むこともできます。

- ▶ 複数の図面ファイルを一度に追加する (P15)
- ▶ 図面ファイルをほかのアプリから送り追加する (P15)

3-2 是正指摘内容を入力する

ピンマークを追加し、指摘記録に是正指摘内容を入力します。

- ① ピンマークを追加したいところでタップし、「ピンマークを追加」を選びます



ピンマークが追加されます。

- ② ピンマークを押し、「指摘記録の詳細」を選びます

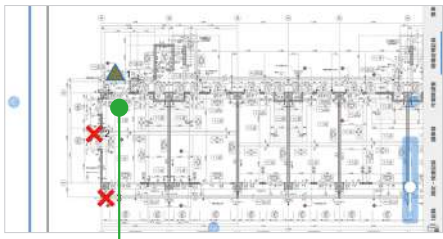


追加した順に数字が表示されます

- ③ 指摘内容や画像を追加し、[完了] を押します



図面が表示され、関連付いたピンマークが選ばれます。



ピンマークの表示
「指摘部分の画像」が追加されたとき：▲
画像が追加されていないとき：✖

▶ ピンマークを移動したい (P9)

3-3 是正内容を入力する

① 是正するメンバーが、図面のページを開きます

② を押します

③ ▲ のピンマークを押し、「指摘記録の詳細」を選びます

④ 是正後の画像や内容を入力し、[完了] を押します



▶ 指摘記録一覧を作る (P14)

指摘記録を入力する画面が表示されます。



ピンマークの表示

「是正後の画像」が追加されたとき：▲
「確認完了」がオンになり、終了したとき：●

指摘図面

タイトル

作成日 2021/06/29 作成者 今村崇実

図 面 2階見上図20210604

最新に更新

番号	場所	内容	修正者	確認
1	天井	ゴミを再付けてください	今村崇実	本
2	天井の騒音	コーンなど移動	本	本
3	天井	再付け準備	今村崇実	完了

指摘する箇所にピンを打って、指摘記録の詳細を入力してください。【最新に更新】を押すと入力した内容が一覧表示されます。

「最新に更新」を押すと、指摘記録に入力した内容が表に反映されます。

4.こんなときは

4-1 ピンマークを移動したい

ピンマークは、うっかり移動してしまわないように 2022 年 7 月版よりロックされるようになりました。

①  を押します

② 図面ユニットをタップします

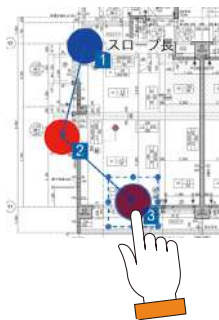
③ 「ピンマークの移動をロック」 をオフにします



① ピンマークを押して表示されるメニューから「ピンマークの移動ロック」をオフにすることもできます。

④ 移動したいピンマークを押します

ピンマークが選択された状態になります。




⑤ ピンマークをドラッグして移動します

① ほかのモードに切り替えたり、ほかのページに切り替えたりして図面ユニットが選ばれていない状態になると、「ピンマークの移動をロック」は、自動的にオンに戻ります。

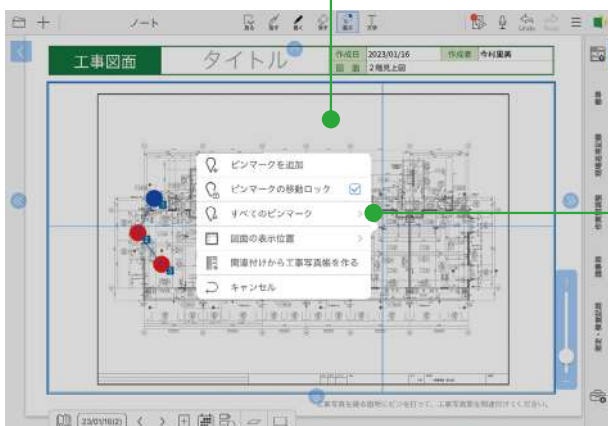
4-2 ピンマークを追加後、ピンマークの形や色・サイズを変更したい

2023年2月よりピンマークを追加したあとで、ピンマークの形や色・サイズが変更できるようになりました。

①  を押します

② 図面ユニットをタップします

③ 「すべてのピンマーク」 > 「スタイルを変更」を
選びます



① ピンマークを押すと表示されるメニューから「すべてのピンマーク」 > 「スタイルを変更」を選ぶこともできます。

④ すべてのピンマークのスタイルを選び、
「完了」を押します。



「ピンマークの初期値にも反映しますか？」で「はい」を選べると、次にピンマークを追加するときに、④で選んだスタイルが反映されます。

① 条件付きスタイルが設定されている場合は、
条件付きスタイルが優先されます。



▶ **ピンマークの条件付きスタイル（色・形・サイズ）を変更する（P11）**

4-3 ピンマークの形や色・関連付けを変更したい

図面連携用紙（工事写真との連携・指摘記録との連携）のピンマークの形や色・関連付けは、「図面ユニットの設定」からカスタマイズできます。

① 「指摘記録票」や「工事写真票」などのピンマークの詳細を記録する用紙をカスタマイズするには、開発ツールオプションが必要です。


4-3-1 ロックを解除し、図面ユニットの設定を表示する


① 画面右の  >  を押し、「すべてのロックを解除」をオンにします



ロックが一時的に解除され、図面ユニットが選択できるようになります。

② ページを切り替えると自動的にオフになり、ロックしている状態に戻ります。

③ Android 版では  が表示されません。図面を長押しし、表示されるメニューから「ページ内のすべてのロックを解除」を選びます。

②  を押します

③ 図面を長押しし、表示されるメニューから「図面ユニット」>「図面ユニットの設定」を選びます



4-3-2 図面ユニットの設定を変更する

4-3-2-1 ピンマークの条件付きスタイル（色・形・サイズ）を変更する

図面と指摘記録を関連付けたときに表示されるピンマークの色や形状は、「条件付きスタイル」から変更できます。

① 「条件付きスタイル」を押します



② 設定されている条件付きスタイルが表示されるので、修正します



条件を追加することもできます。

③ 「完了」を押して設定を終わります

4-3-2-2 ピンマークの関連付けを変更する

ピンマークを押して「工事黒板（指摘記録）に関連付け」を選んだときの動作を設定します。

① [ピンマークの関連付け設定] を
押します



② 設定を変更します



ピンマークと工事黒板（指摘記録）を自動で関連付ける

オンにすると、ノートにある工事黒板（指摘記録）内の関連付けされていないタグを探し、自動的に関連付けてジャンプできるようになります。タグが見つからない場合、以下の [図面連携用紙] で選んだ用紙のタグに関連付けてジャンプします。[図面連携用紙] を選んでいない場合は、工事黒板（指摘記録）を選んだ画面が表示されます。

図面連携用紙


ノート内にある工事黒板（指摘記録）内の関連付けされていないタグを探しても見つからない場合、ここで選んだ工事黒板（指摘記録）のタグに自動的に関連付けてジャンプします。

③ [完了] を押して設定を終わります

4-3-3 ロックする

① 画面右の  >  を押し、「すべてのロックを解除」をオフにします

▶ カスタマイズした図面連携用紙を登録して
チームで利用したい (P13)

i Android 版では  が表示されません。
図面を長押しし、表示されるメニューから
「操作」 > 「すべてをロック」を選びます。

4-4 カスタマイズした図面連携用紙を登録してチームで利用したい

カスタマイズした図面連携用紙（工事写真との連携・指摘記録との連携）を共有テンプレートとして登録すると、チームのメンバーも利用できるようになります。

4-4-1 カスタマイズした図面連携用紙を共有テンプレートとして登録する

① カスタマイズした図面連携用紙を表示します

② ユーザーが誤って部品を選ばないようにロックします

① ロックする方法やテンプレートとして登録する詳しい方法は、別ガイド「[フォーム作成ガイド](#)」でご確認ください。

③ ページ一覧でカスタマイズしたページを長押しまたは右クリックし、「登録 / 作成」>「用紙テンプレートの登録」を選びます

「用紙テンプレートの登録」画面が表示されます。

④ テンプレートの情報を登録し、「完了」を押します

テンプレート名を入力します

「共有テンプレート」をオンにし、①を共有したいチームを選びます

4-4-2 カスタマイズした図面連携用紙を利用する

チームメンバーの画面に、登録された図面連携用紙が表示されます。

チームにあるノートを開き、+>「図面を追加」>「図面連携用紙でページを追加」を選んだ画面で表示されます。



チームメンバーが「用紙の選択」画面を開くと、「共有テンプレート」のチームに表示されます。「用紙の選択」画面は、ノート作成・ページ追加などの操作で表示される画面です。



4-5 ピンマークに関連付けられた一覧を作りたい

4-5-1 工事写真帳を作る

ピンマークや図面ユニットを押して表示されるメニューから「関連付けから工事写真帳を作る」を選ぶと、選んだ図面ユニットまたはノート全体の工事写真を一覧で表示したページを追加できます。



① + > 「ページを追加」 > 「工事写真帳を作る」 から、工事写真を選んで工事写真帳を作ることができます。

② Android 版では「関連付けから工事写真帳を作る」、+ > 「ページを追加」 > 「工事写真帳を作る」は表示されません。iOS 版、Windows 版で操作します。

4-5-2 指摘記録一覧を作る

ピンマークや図面ユニットを押して表示されるメニューから「指摘記録の一覧からページを追加」を選ぶと、指摘内容と画像を一覧で表示したページを追加できます。



4-6 複数の図面ファイルを一度に追加する

複数のページが含まれる図面ファイルや、複数の図面ファイルを一度の操作で図面連携用紙に読み込むこともできます。

▶ 図面ファイルの保存場所について (P3)

① + > 「図面を追加」 > 「図面ファイルからページを追加」を選びます



② 「図面ファイル」から図面ファイル (PDF・イメージ) を選び [開く] を押します



③ 図面連携用紙を選びます

④ 縮尺や図面ファイルの追加順を選びます

⑤ [完了] を押します

図面連携用紙に図面ファイルが読み込まれ、複数ページが追加されます。

4-7 図面ファイルをほかのアプリから送り追加する

2022年12月のアップデートより、メールやGoogleドライブなどのアプリから送られた図面ファイルを、図面連携用紙に読み込めるようになりました。

① 図面ファイルを追加したいノートを開きます

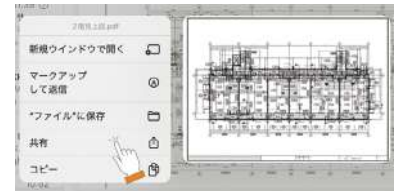
① ノート一覧画面を開いていた場合、操作⑤の「インポート」画面に「図面連携用紙で追加する」は表示されません。

② ほかのアプリで図面ファイル (PDF・イメージ) を表示します

ここではメールアプリを使って説明します。

① 複数のページが含まれるPDFも読み込むことができます。

③ PDF を長押しし、「共有」を選びます



④ 「eYACHO 6」をタップします



① ほかのアプリをご利用の場合、PDFをeYACHOに送る操作 (eYACHOで開く操作) をして⑤に進みます。

⑤ 「図面連携用紙で追加する」をオンにし [完了] を押します



ほかのストレージなどからインポート

ノート編集画面で、+ > 「インポート」を選んで表示されるストレージなどから図面ファイルを読み込むときも、「インポート」画面に「図面連携用紙で追加する」が表示されます。

① Windows版とAndroid版は + > 「ファイルから読み込む」を選びます。

⑥ 図面連携用紙を選びます

前回選んだ用紙が表示されます。



⑦ 縮尺を選びます

⑧ [完了] を押します

図面連携用紙に図面ファイルが読み込まれ追加されます。